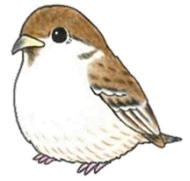


探鳥会スタッフ通信

2021年
7月号



「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目次

- ◆『小学生の野鳥観察授業をサポートしてきました』・・・・・・・・・・1
- ◆『教室探鳥会を開催しました』・・・・・・・・3
- ◆普及室からのお知らせ
 - ・9月開催の「ツバメのねぐら入り観察会」実施概要をお送りください・・・・・・・・5
 - ・秋期開催分「初心者向けバードウォッチング」実施概要の募集を始めました・・・・・・・・6
 - ・探鳥会のリスクマネジメント研修のお知らせ（8月開催分）・・・・・・・・6
- ・バードショップカタログのWEB版を発行しました・・・・・・・・7
- ・zoomを使ったブロック会議等のお手伝いをします・・・・・・・・7
- ◆探鳥会開催状況・・・・・・・・8
（2021年5月分）
- ◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・10
（2021年5月分）
- ◆今月の購読者数・・・・・・・・12
- ◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・・13
- ◆編集後記・・・・・・・・13

◆『小学生の野鳥観察授業をサポートしました』

2021年5月に財団普及室宛に、学校活動をサポートされているという方から、小学校の授業にボランティアで協力して下さる方を紹介してもらえないかとの連絡がありました。神奈川県海老名市立今泉小学校の子どもたちに対し、学校の周りにはいる鳥について教えてほしいとのことでした。そこで普及室から、日本野鳥の会神奈川支部に対応いただける方がいないかお聞きしたところ、神奈川支部の大橋様が引き受けてくださいました。当日の様子についてご報告いただきました。

昨年秋よりほぼ全ての探鳥会を開催できず、日々悶々と過ごしていた中、「ボランティアで授業のサポートをしてくれる方はいませんか」と声をかけていただき、近くに住んでいるという理由だけで手を挙げました。一応、理科と社会を束ねた総合学習という事でしたが、「知識より感動」と心に秘め準備を進めました。

初めて双眼鏡で野鳥を見た子供たちの目はキラキラと輝き、鳥合わせでは鳥の名前を知らなくても印象に残った野鳥の行動や姿を発表してくれました。年齢や性別も何も関係なく心を通わせられるバードウォッチングの魅力を再認識すると同時に、常に初心者に寄り添い探鳥会をリードする事の大切さを肝に銘じました。

■概要

- 日時 2021年6月24日（木）～25日（金）9：00～12：15
- 場所 県立相模三川公園
- 参加者 海老名市立今泉小学校 4年生 4組
合計130名 教諭4名
日本野鳥の会神奈川支部 4名
（探鳥会幹事1名、会員3名）

授業の狙い

- ①子供たちに「自然の大切さ」を、野鳥を例にして理解してもらう。
- ②そして自然を守るために、「自分たちにできること」を考えてもらう。

■開催方法の検討

学校を訪問し、先生方と日時、場所、お話の内容、コロナウイルス対策等を話し合いました。

- ・時間割 観察 50 分／組×2 組、その後学校に戻り 2 組合同の鳥合わせとお話 30 分
- ・普及室に双眼鏡 40 台の貸し出しと、「おさんぼ図鑑」の無償提供をお願いしました。

その他、お話の言葉が子供たちに通じるかどうか、小学 4 年生の孫に事前に確認しました。

■公園での野鳥観察

双眼鏡の使い方と注意事項を伝え、「数メートル先の花がハッキリ見えた方は手を挙げて下さい」と声掛けし、全員が見えたことを確認して出発。すぐに草地にムクドリの子をみつけると子供たちはダッシュ。「走ったり素早い動きをすると逃げるよ」となだめつつ、「嘴はオレンジだった?」「そうだったよ 足も!」「飛び鳥が水に潜るんだ!(カワウ)」「まるで茶色い石みたい。じっとしてる...(コチドリ)」「わあーすごい嘴!(トビ)」と歓声が上がったと思うと、「道で普通にしているより、(双眼鏡で見ると)ずっと鳥の顔がかわいらしく見える」「僕は昆虫とかが苦手だったけれど、鳥は好きかもしれない」等と冷静な感想も聞こえ、あっという間の 50 分でした。拡声器での鳥の解説はほぼ不要でした。



▲ダイサギを観察中

■学校に戻っての鳥合わせとお話

鳥合わせは、子供達が発表した鳥の名前を黒板に書き、A4 判の写真を壁に貼りました。種ごとに解説する時間はなく、子供たちの発表に短く相槌を打つので精一杯でした。

お話は、1 日目は先生からの依頼のひとつ「野鳥と他の生き物や自然環境との関わり」に沿っ



▲耳をすませて

て、「食べる食べられるのつながり」や「野鳥と植物とのつながり」を解説しました。しかしこれらの内容は、高学年になった時に授業で習う内容でした。ということで 2 日目は、日本野鳥の会の活動、「野鳥を守る」「野鳥を調べる」「野鳥を楽しむ」「これらを支える為の観察用具や図鑑の販売」を具体的な事例を交えてお話ししました。



▲鳥合わせとお話

■まとめ(今後の開催に向けて)

2 日間を通して、一人として下を向いたりしていた子はいませんでした。皆、熱心にメモをとったり真っすぐ目を向けてお話を聞いてくれました。プラスチックの海洋汚染で多くの海鳥が死んでいるとの話を聞いて、「人間は野鳥の住む環境にその他どのような影響を与えていますか」等の質問を受け、子供たちの環境への意識の高さに驚きました。今後は、やはり生のフィールドで秋に木の実を啄む小鳥たちの観察会を予定します。また三番瀬のシギ・チドリを iPad でライブ配信し、子供達と交流することも検討しています。

(日本野鳥の会神奈川支部／大橋雅敏)

離れた教室内で観察することにしました。しかしこの場所は学童の登下校の通路にあたり、野鳥が落ち着いて営巣できる場ではないとようやく気付きました。5年目からはこれまで通常の巣箱を設置して営巣実績のあった校庭の片隅のソメイヨシノの木に、システムの巣箱を設置しました。しかし5年目はシジュウカラが営巣はしてくれましたが、侵入したアリにプリント基板を破壊されてしまい、営巣の様子を観察できませんでした。何度も今年だめだったら終わりにしようと思いましたが、モニタに映し出された営巣の様子を見て感動する子供たちの笑顔を見たくてトライを続けました。



▲校庭のソメイヨシノに設置した巣箱

■教室探鳥会の実施

アリ対策を万全にし、巣箱やバッテリー、その他の部品もほとんど一新して臨んだ6年目の2021年4月15日。担当の先生から教室内のモニタにシジュウカラの卵が5つ映っているとの連絡が、箱田さんを通してありました。とうとうこの日がやってきました。6年間の苦労が報われた瞬間です。

その後、モニタでの確認で卵を6個まで産んで抱卵開始したとのこと。コロナ過ではありませんでしたが、子供たちに私たち人間と同じ生き物である野鳥の子育てについて知ってもらべく、5月13日（金）にモニタを設置してある2年1組23名の児童に対して、箱田さんと共同で授業を実施することになりました。モニタには2羽となってしまったヒナが映し出されています。

授業のテーマは「巣箱の野鳥を観察してみよ

う」。「人間の赤ちゃんはどこで生まれてどこで育つの？」の問いに、「病院・おうち」と子供たちの答え。「ではシジュウカラという鳥はどこで生まれて、どこで育つの？」の問いに「巣！」と皆一斉に回答。野鳥の種類によって巣を作る場所が違うことを説明し、また営巣の工程をカレンダーを用いて説明しました。

4月16日に6個目の卵を産んで、その日から母親が卵を温め始めたとすると、2週間後の4月30日にはヒナが孵ったこととなります。これまでのシジュウカラの観察では17日間巣内のヒナを育てていました。「さあみんなと一緒に巣立ちがいつかカレンダーで数えてみよう！」。子供たちの声を揃えたカウントが終わると、巣立ちの推定日は翌週月曜日の5月17日となりました。

話している最中にも教室内のモニタには親鳥が運んできた食べ物をヒナに与える様子が写し出されます。そのたびに子供たちの視線はモニタにくぎ付けになります。巣の中でのヒナの排泄物の処理の仕方を解説した後に、ちょうどモニタには、1羽のヒナがお尻をもたげ、排泄物が風船のように膨らんでいく様子が映し出されます。その排泄物を親鳥がくわえて巣箱の外へ持ち去る様子に子供たちは「ワー」と驚きの声をあげます。野外の探鳥会では決して見ることのできないシジュウカラの営巣の様子を観察できる教室探鳥会での醍醐味です。



▲モニタに見入る子供たち

授業実施後、子供たち一人ひとりが鳥や巣箱を描いた絵と、感想・質問を綴った文集が送られてきました。その一部を以下にご紹介します。

- とりのおかあさんがこどものうんちを、くわえているのをはじめてみました。おやはくさくないのかとおもいました。

- とりの赤ちゃんが、いつかはすをでちゃうなんてはじめてしりました。
- それぞれとりがすをつくるところがちがうなんでびっくりしました。
- とりがすをどこにつくるかというもんだいがすごくおもしろかったです。
- とりがどういうところにいるのかがわかったよ。とりはへびがきてもにげられますか？
- 虫をたべておおきくなるとわかりました。
- とりがむかでをたべるなんてびっくりしました。
- いなぎにとりはなんびきいますか？
- 「とり」というのは、なんでついたのでですか？
- いちばん大きなとりはなんですか？
- とりはそとにでたらどこに1ぴきですむんですか。おしえてください。
- ひながすだってとんでるときに雨がふってきたらどうするんですか？
- ふゆとかさむい日はとりたちはどうするんですか？
- テレビ、おもしろかったです。いろいろおしえてくれてありがとうございました。

感想・質問に目を通してみると子供たちがこれまでより野鳥に対して興味を持ち、関心を深めたことが伺えます。子供たちの素朴な疑問に対する回答を作成して返信しようと思います。

■教室探鳥会の普及を目指して

授業でカウントした巣立ち予測日とピットリ同じ5月17日の朝、子供たちが見守る中、2羽のヒナが巣立っていったと先生から連絡を頂きました。教室で巣箱観察システムを活用した授業は、野鳥を通して子供たちに生き物の大切さを考えてもらうよいきっかけになる

と確信しています。

2021年3月には私の地元の小田原市立下中小学校の校庭にも同様のシステムを設置しました。システムは順調に稼働していますが、残念ながら今年は、営巣は確認できていません。根気強く続けていきたいと思っています。

しかし1校1校での対応には限界があります。校庭に巣箱を設置しても営巣してくれるとも限りません。その点、我が家の庭に設置した巣箱内では、ほぼ毎年シジュウカラやヤマガラが営巣してくれます。その様子を毎年インターネット配信しています。この画像を授業で取り入れてもらう仕組みを構築することにより、多くの学校・その他の施設において教室探鳥会を実施することができるのではと考えています。学校の校庭に設置した巣箱の中を、教室でリアルタイムに観察できるという臨場感は薄れてしまっていますが、子供たちへの環境教育のツールとしての活用を是非実現したいと思います。

(日本野鳥の会神奈川支部/ 畠山義彦)

畠山さんには、私が普段から自然観察の授業をお手伝いしている小学校で、「巣箱観察システム」を試験運用していただいてとても感謝しています。今回のことで、テクノロジーを使って子どもたちがより深く自然への興味関心をかきたてられることが実感できました。子育ての動画を教育現場で活用して効果的な授業ができるようになるといいなと思います。(普及室 箱田敦只)

※「巣箱観察システム」についてのお問い合わせは、畠山 義彦さんまで。

アドレス：bird.hatakeyama@jcom.zaq.ne.jp

◆普及室からのお知らせ

■9月開催の「ツバメのねぐら入り観察会」実施概要をお送りください■

開催を予定される支部の皆さまは、実施概要をお送りください。締め切りは、7月末日となります。

(詳細は4/15付で各支部事務局に送付した

『2021年「ツバメのねぐら入り観察会」情報提供のお願い』をご覧ください。)

■秋期開催分「初心者向けバードウォッチング」実施概要の募集を始めました■

「初心者向けバードウォッチング」の秋期（2021年10月～12月）開催分の実施概要を募集します。締め切りは、10月開催分は8月末日、11月開催分は9月末日、12月開催

分は10月末日となります。本紙7月号紙面版に同封して支部事務局宛にご送付しました資料をご覧ください、開催を予定される支部の皆さまは、実施概要をお送りください。

■探鳥会のリスクマネジメント研修のお知らせ（8月開催分）■

リスクマネジメントは、これからの時代の野外活動では必須の研修です。その考え方を知っているか知っていないかで、探鳥会の安全性が変わってきます。

コロナで活動ができないこの機会に、探鳥会のリスクマネジメントを見直してみませんか？

以下の要項をお読みいただき、ご参加いただける方は8/8（日）までにお申込みください。

【タイトル】

探鳥会のリスクマネジメント研修(基礎編/実践編)

【実施日】2021年8月18日（水）

19時～21時30分（締め切り8月8日）

【内 容】

前半の基礎編では、リスクマネジメントの基本的な考え方についてわかりやすく解説し、どのような法的責任がかかってくるのかについて解説していきます。

後半の実践編では、具体的に支部の探鳥会にむけてどのようなことをすればよいのかについてお話していきます。

【配布物】テキスト1冊（PDF版）

※以下のURLからダウンロードしてください。

https://www.wbsj.org/info/shibu/tancho/risk_management_text_202012.pdf

（当会の顧問弁護士ほかに監修していただきました。）

【定 員】定員 10名

【参加費】無料

【申し込み】件名に「リスクマネジメント研修申し込み」と明記の上、①お名前②支部名③メールアドレスを明記の上、8/8（日）まで

に tancho-staff@wbsj.org までにお送りください。

【受講環境】

①受講には、インターネットに接続する環境が必要です。

②お使いのパソコンに、スピーカー、マイク、webカメラの設備が備わっているかご確認ください。

③スマホでも受講できます。wifi環境での受信をお勧めします。

④zoomというサービスを使用する予定です。

【進 行】

19:00 オープニング

19:10 リスクマネジメント（基礎編）

20:00 質疑応答

20:10 リスクマネジメント（実践編）

21:15 質疑応答

21:30 終了



▲研修の様子

■バードショップカタログのWEB版を発行しました■

普及室では、「バードショップカタログ 2021年春夏号」から、WEB版を発行しています。インターネット上で、ページをめくることができ、お気に入りの商品があれば、近くにあるカートボタンをおして、そのままバードショップオンライン「Wild Bird」にアクセスしてお買い物をする事ができます。

当会で商品をお買い上げいただいた方や、小冊子をお申込みいただいた方には、一定期間、

紙媒体の「バードショップカタログ」をお送りしていますが、期間が過ぎると郵送されなくなってしまいます。

販売による収益は、当会の自然保護事業、普及事業などに活用しておりますので、探鳥会等で『「バードショップカタログ」が欲しいけど、最近、送られてこない』等のお問い合わせがあった場合は、ご案内いただければ幸いです。

★春夏カタログ

https://www.birdshop.jp/DGcatalog21ss/book/#target/page_no=1

★サマーフェア

https://www.birdshop.jp/DGcatalog21sf/book/#target/page_no=1

■zoomを使ったブロック会議等のお手伝いをします■

直接対面して打ち合わせや会議ができない中、zoomを使った会議を検討されているところもあるかと思えます。

zoomは、無料アカウントの範囲では40分間までしか利用できないという制限が付いています。普及室では、有料のアカウントを取得しておりますので、長時間に及び会議も対応可能です。

もし、有料アカウントをお持ちでないことからブロック会議等の会議が計画できないなどございましたら、普及室 tanchostaff@wbsj.org

までお声がけください。普及室が会議の共催になることによって、ホストを担当することができます。

また、その他支部の活動でzoomを使った会議の方法がわからないなどのご質問にも丁寧にお答えします。

対面することができないからと打ち合わせや会議をあきらめるのではなく、zoomを活用してコミュニケーションをとっていただけるようお願い申し上げます。

◆探鳥会開催状況（2021年5月分）

2021年5月は43支部が計128回の探鳥会を開催しました。昨年同月の開催支部数は2支部、開催探鳥会数は2回でした。（開催回数には中止の回数は含みません。）

表1. 5月の探鳥会開催状況（探鳥会保険の申請結果から作成）

支部	探鳥会開催回数 (2020年5月)	探鳥会開催回数 (2021年5月)
オホーツク支部	0	0
根室支部	-	-
釧路支部	0	3
十勝支部	-	-
旭川支部	0	0
滝川支部	0	1
道北支部	0	0
江別支部	-	-
札幌支部	0	0
小樽支部	0	2
苫小牧支部	0	1
室蘭支部	0	2
道南桧山	0	3
青森県支部	-	-
弘前支部	-	9
秋田県支部	0	3
山形県支部	0	3
もりおか	0	0
北上支部	-	2
宮古支部	-	-
宮城県支部	0	3
ふくしま	-	2
郡山支部	0	1
白河支部	0	1
会津支部	-	1
奥会津連合	-	-
いわき支部	0	1
福島県相双支部	-	-
南相馬	-	0
茨城県	0	9
栃木県支部	0	8
群馬	-	9
吾妻	-	2
埼玉	0	0
千葉県	0	0
東京	0	0
奥多摩支部	0	0
神奈川支部	0	0
新潟県	0	2
佐渡支部	-	-

富山	0	3
石川	0	4
福井県	-	0
長野支部	0	6
軽井沢支部	0	2
諏訪支部	0	-
木曾支部	-	-
伊那谷支部	-	-
甲府支部	0	2
富士山麓支部	0	2
東富士	-	-
沼津支部	-	2
南富士支部	0	1
南伊豆	0	1
静岡支部	-	4
遠江	0	1
愛知県支部	0	6
岐阜	-	-
三重	0	2
奈良支部	0	0
和歌山県支部	0	0
滋賀	-	-
京都支部	0	0
大阪支部	0	0
ひょうご	0	0
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	1	4
島根県支部	0	3
岡山県支部	1	1
広島県支部	0	0
山口県支部	0	2
香川県支部	0	0
徳島県支部	0	0
高知支部	0	2
愛媛	0	0
北九州支部	0	0
福岡支部	0	6
筑豊支部	0	0
筑後支部	0	0
佐賀県支部	0	1
長崎県支部	-	0
熊本県支部	-	0
大分県支部	0	0
宮崎県支部	0	1
かごしま県支部	0	4
やんばる支部	-	-
石垣島支部	-	-
西表支部	-	-
報告支部数合計	59	70
開催支部数合計	2	43
開催回数合計	2	128

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

(普及室)

◆探鳥会保険集計結果（2021年5月分）※中止と下見を含む

5月は70支部からご報告をいただき、計172回の探鳥会が開催され、のべ2,383人が参加されました。（開催回数には中止の回数も含まれます。参加者数には中止の際の当日対応も含まれます。）

表2. 5月の探鳥会保険集計結果（2021年6月15日現在）

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員(人)	一般(人)		
オホーツク支部	0	0	0	0	0
根室支部	-	-	-	-	-
釧路支部	3	24	51	6	81
十勝支部	-	-	-	-	-
旭川支部	0	0	0	0	0
滝川支部	2	10	1	2	13
道北支部	0	0	0	0	0
江別支部	-	-	-	-	-
札幌支部	3	0	0	3	3
小樽支部	3	6	4	4	14
苫小牧支部	1	1	8	4	13
室蘭支部	2	7	5	2	14
道南桧山	3	20	51	13	84
青森県支部	-	-	-	-	-
弘前支部	9	76	20	9	105
秋田県支部	3	14	0	3	17
山形県支部	3	15	0	4	19
宮古支部	-	-	-	-	-
もりおか	0	0	0	0	0
北上支部	2	17	0	3	20
宮城県支部	7	35	12	11	58
ふくしま	2	37	0	4	41
郡山支部	1	16	0	2	18
白河支部	1	3	0	1	4
会津支部	2	4	1	2	7
奥会津連合	-	-	-	-	-
いわき支部	1	13	2	2	17
福島県相双支部	-	-	-	-	-
南相馬	1	0	0	5	5
茨城県	9	29	77	15	121
栃木県支部	8	83	31	35	149
群馬	10	177	55	31	263
吾妻	2	14	15	4	33
埼玉	0	0	0	0	0
千葉県	1	0	0	2	2
東京	0	0	0	0	0
奥多摩支部	0	0	0	0	0
神奈川支部	0	0	0	0	0
新潟県	2	9	24	9	42
佐渡支部	-	-	-	-	-

富山	4	48	30	8	86
石川	5	27	32	16	75
福井県	0	0	0	0	0
長野支部	7	97	49	14	160
軽井沢支部	2	15	6	2	23
諏訪支部	-	-	-	-	-
木曾支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	-	-	-	-	-
甲府支部	2	39	14	6	59
富士山麓支部	2	18	3	4	25
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	2	18	0	4	22
南富士支部	1	18	0	2	20
南伊豆	1	8	8	2	18
静岡支部	4	56	9	9	74
遠江	1	13	12	6	31
愛知県支部	6	71	4	17	92
岐阜	-	-	-	-	-
三重	4	4	0	8	12
奈良支部	1	0	0	1	1
和歌山県支部	0	0	0	0	0
滋賀	-	-	-	-	-
京都支部	0	0	0	0	0
大阪支部	3	0	0	6	6
ひょうご	0	0	0	0	0
鳥取県支部	4	37	45	7	89
島根県支部	3	21	32	3	56
岡山県支部	1	25	18	4	47
広島県支部	0	0	0	0	0
山口県支部	2	4	6	2	12
香川県支部	0	0	0	0	0
徳島県支部	7	0	0	20	20
高知支部	2	15	21	2	38
愛媛	4	0	0	5	5
北九州支部	5	0	0	6	6
福岡支部	6	104	23	16	143
筑豊支部	0	0	0	0	0
筑後支部	0	0	0	0	0
佐賀県支部	1	10	0	1	11
長崎県支部	0	0	0	0	0
熊本県支部	0	0	0	0	0
大分県支部	2	0	0	8	8
宮崎県支部	5	21	12	9	42
かごしま県支部	4	49	0	10	59
やんばる支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
全国	172	1,328	681	374	2,383

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

(普及室)

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信 7月号の電子メール版の購読者数は、先月から変わらず 882 名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表 3. 探鳥会スタッフ通信 7月号電子メール版の購読者数（2021年7月15日現在）

支部	購読者数	支部	購読者数
オホーツク支部	7	軽井沢支部	1
根室支部	2	諏訪	6
釧路支部	4	木曾支部	1
十勝支部	1	伊那谷支部	1
旭川支部	3	甲府支部	4
滝川支部	1	富士山麓支部	0
道北支部	1	東富士	0
江別支部	0	沼津支部	3
札幌支部	6	南富士支部	3
小樽支部	3	南伊豆	2
苫小牧支部	2	静岡支部	2
室蘭支部	4	遠江	11
道南桧山	2	愛知県支部	45
青森県支部	1	岐阜	6
弘前支部	5	三重	20
秋田県支部	4	奈良支部	6
山形県支部	4	和歌山県支部	5
宮古支部	1	滋賀	20
もりおか	4	京都支部	33
北上支部	2	大阪支部	29
宮城県支部	39	ひょうご	17
ふくしま	6	NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
郡山支部	1	島根県支部	13
白河支部	2	岡山県支部	28
会津支部	2	広島県支部	9
奥会津連合	0	山口県支部	16
いわき支部	1	香川県支部	7
福島県相双支部	0	徳島県支部	5
南相馬	4	高知支部	1
茨城県	22	愛媛	16
栃木県支部	58	北九州	11
群馬	24	福岡支部	12
吾妻	1	筑豊支部	23
埼玉	38	筑後支部	6
千葉県	24	佐賀県支部	5
東京	68	長崎県支部	4
奥多摩支部	49	熊本県支部	13
神奈川支部	27	大分県支部	4
新潟県	2	宮崎県支部	5
佐渡支部	1	かごしま県支部	4
富山	3	やんばる支部	0
石川	30	西表支部	1
福井県	12	合計	882
長野支部	3		

(普及室)

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのア

ドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.orgへお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.orgまでお知らせください。

★編集後記

いつもご購入ありがとうございます。今号で発行第100号となりました！
今後も全国支部、皆様の情報交換の場としてお役に立てる様な紙面作りに励みたいと思います。
（耳より情報・記事もお待ちしております。）

（普及室／十倉 久枝）

日本野鳥の会

探鳥会スタッフ通信 第100号

◆発行

(公財)日本野鳥の会 2021年7月15日

◆担当

普及室 普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2622

FAX : 03-5436-2635

E-mail : tancho-staff@wbsj.org
